

「子供のけんかに大人が…」という言葉に耳にしたことがあると思います。最近では、けんかにすらならないこともありません。何かあっても、自分から言いかえせず、後になって保護者から我が子がいやな思いをして帰ってきたという話を聞き、対処することもありません。気づけずに申し訳ない気持ちと同時に、「なぜその場でその子は言い返せなかったのだろう。」と考えてしまいます。

集団生活の中では、トラブルはつきものです。言い合いになった場合も、解決せずそのまま過ぎ、さらに根深いものになっていくということがあります。口げんかになったとき、間に入り話を聞くことがあります。しかし、聞いてみると話す言葉は、文になっていないことが多いのです。言いたいことが、相手に伝えられず、結局ののしり合いになってしまうのです。言いたかったことを整理し、その時の気持ちを伝え合いい、相手に分かってもらえると表情が変わっていきます。

けれど、いつも間に入れるわけはありません。そこで、少しずつ話し合いを子どもたちに任せるようにしていきます。「解決策は子どもが考えたら励まし、また考えるようにしていきます。繰り返すことでトラブル

ルへの対応力がつき、解決できたことに自信をもちます。この過程がないと、言い返せない、けんかしたままということになってしまうのです。

5月・6月は小中学校では宿泊学習があります。安全に配慮し、事前学習などの取り組みをした上で、当日を迎えます。それでも、予期せぬことが起こります。例えば、グループ行動で道を間違えてしまうことなどです。誰かのせいにするのではなく、ここでもどうしたらよいか話し合うことが大切です。言いかえれば、トラブルを自分たちで解決していくこともねらいの一つなのです。

とかく、大人は子どもによかれと先回りをして、世話をやいてしまいがちです。その結果、指示待ちで、言われたことしかしない子どもになっていくのではと思います。子どもたちには本来、気づき、考え、行動できる力が備わっています。子どもたちが失敗や成功をたくさん経験できるように、大人は仕組んでいかなければなりません。その中で、時に励まし、時に手助けできたらと思います。

トラブルは、チャンスです。大人はお膳立てしすぎずに、手は離しても、目は離さず、見守っていくことも大切だと思います。



毎月第1日曜日は「家庭の日」

毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。

青少年育成都留市民会議編集委員

連載・青少年健全育成シリーズ 第240回

# 「見守る」

## 広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？  
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています  
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合先：行政管理課 秘書広報担当

### 広告料金

掲載場所	印刷色	金額 / 枠	備考
裏面	カラー	20,000	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,000	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月

⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。

掲載状況につきましては、下記をご参考としてください。  
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄